

与那原中学校 音楽科シラバス 1学年

1 授業のねらい(身に付けて欲しい力)

教科書名「中学生の音楽I」

「中学生の器楽」

- ・実技・歌唱・鑑賞を通して「芸術としての音楽」を学習する。
- ・歌唱や楽器などの自己表現力の育成や、鑑賞などによってその美しさを感じ、感受性を豊かにするなど音楽を通して芸術文化を総合的に学習する。
- ・国際社会に通じる、日本と世界の音楽を学習する。

2 授業の進め方

- ・一斉指導、グループ別指導、自主的学習を組み合わせた授業の展開。
- ・各々の生徒に対応した実技テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現能力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感じさせることを目標とする。
- ・ICT教育に関しては、タブレットなどを適宜利用する。

3 学習上の留意点

- ・授業中・鑑賞中・演奏中において聴くことに集中する。
- ・自ら音楽を実践(演奏)できること。
- ・積極的に授業に参加すること。
- ・忘れ物はしない。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。

4 補助教材の活用方法(自学自習の進め方)

- ・単元毎にワークを使用する。
- ・単元に合わせたプリントを配布・送信する。

5 テスト

実技テスト・鑑賞・単元テスト

※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価する。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・実技テスト(歌唱・器楽)での積極的な態度と、授業中に指示した音楽的な表現力を発揮する。 ・楽典においては正しい知識を獲得し、それを鑑賞・実技に生かす。	・鑑賞においては、その楽曲の持つ音楽的な工夫や、それらに関わる歴史的な背景に興味を持つことができ、感想を書くことができる(それに準ずるワークシート等記入)。	・積極的に授業に参加し、主体的に実技練習や実技テストに取り組む。 ・提出物に丁寧に取り組み、期限を守って提出できる。
方法	・リコーダーテスト ・歌唱テスト ・単元テスト	・実技テスト ・単元テスト ・ワークシート	・実技テスト ・単元テスト ・提出物

7 授業計画(見通しを持って予習・復習の自学学習に取り組みましょう。提出物も忘れずに!)

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学 期	4	・思いをこめて合唱しよう 「校歌」「We'll Find The Way」	歌唱テスト	・旋律の重なり方に注目し、互いの声を聞き合って歌う。
	5	・曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう「リコーダー LESSON1」	リコーダーテスト	・左手の運指やアーティキュレーションに気をつけて演奏する。
	6	・曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう「主は冷たい土の中に」	歌唱テスト 単元テスト	・旋律の特徴や強弱の変化に気をつけながら、表現を工夫して演奏する。
	7	・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう「春/ヴィヴァルディ」	ワークシート 単元テスト	・独奏と合奏の対比やソネットと音楽の関わりに気をつけて聴く。
	8	・合唱コンクールに向けて 選曲/パート決め	振り返りシート	・合唱コンクールに向けて主体的に練習に取り組む。
	9	・合唱コンクール音取り練習		
	10	・合唱コンクールパート練習		
2 学 期	10	・合唱コンクール合わせる練習	歌唱テスト	・仲間と協働し音楽を作り上げる。
	11	・合唱コンクール合わせる練習		
	12	・曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう「魔王」 ・曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう「リコーダー LESSON2」	ワークシート 単元テスト リコーダーテスト	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している ・両手の運指に気をつけながら、吹き方を工夫する。
	1	・日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう「浜辺の歌/赤とんぼ」	歌唱テスト	・拍子や速度が生み出す雰囲気や、旋律と言葉の強弱との関わりを感じ取り、表現を工夫して歌う。
	2	・日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう	ワークシート 単元テスト	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、音楽の多様性について理解している。
	3	・曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう「リコーダー LESSON3」	リコーダーテスト	・サミングに気をつけて吹き方を工夫する